

講義名	大学と社会		
科目区分	教養科目		
担当教員	小畑 徳彦		
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 2時限		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	52009

### 主題と概要

大学はどのようにして誕生したのか、各時代、各国の社会の中で大学がどのような役割を果たしてきたのか、そして今、日本で大学はどのような役割を果たしており、社会から大学や大学で学ぶ学生にどのようなことが求められているかをさまざまなデータを用いて概観し、最近のトピックも紹介することによって、大学で学ぶことの意義や、何をどう学んだらいいかを考える。

### 到達目標

現代社会における大学の役割について理解し、大学で何をどう学んだらよいかについて、各自の考えを形成する。

### 提出課題

毎回課題を出し、その場で書いて提出してもらう。

### 評価の基準

毎回の課題60%、定期試験（論述式、すべて持ち込み可）40%

### 履修にあたっての注意・助言他

・授業で学んだことを覚えるのではなく、それを手掛かりに自分で考えることが重要です。定期試験は授業の理解度と授業で取り上げたテーマについて自分でどれだけ考えたかを問う問題を出します。  
 ・毎回出す課題に対する解答が成績の60%を占めるので、理由の如何を問わず欠席が多いと単位はとれません。したがって、就活等で欠席が多くなりそうな学生にはお勧めしません。

### 教科書

・使用しない。

### プリント資料及び参考文献

毎回レジュメと資料を配布する。  
 レジュメと授業で使用したスライドは、RYUKA PORTALにも掲載する。  
 <参考文献>  
 吉見俊哉『大学とは何か』岩波新書 820円  
 天野郁夫『大学の誕生（上）』中公新書 940円  
 天野郁夫『大学の誕生（下）』中公新書 980円  
 クリストフ・シャルル/ジャック・ヴェルジェ『大学の歴史』文庫クセジュ 1050円

### 授業計画

1. 大学とは何か？
2. 日本の大学制度の歴史（1）明治維新～大学令以前
3. 日本の大学制度の歴史（2）大学令～第二次世界大戦後の教育改革
4. 日本の大学制度の歴史（3）高度成長時代～現在
5. ヨーロッパ大陸における大学の誕生と発展
6. 英米における大学の誕生と発展
7. 大学制度の国際比較
8. 大学への進学
9. 大学教育の内容
10. 大学生と就職
11. 大学の費用と費用負担
12. 大学とその他の教育機関
13. 大学の国際化
14. 流通科学大学と社会
15. 大学は何をすればいいか？

### 予習・復習

毎回の授業の後、配布したレジュメやプリントとスライド（RYUKA PORTALに掲載）を利用して各回のテーマについて復習してください。（各回2時間）  
 それぞれのテーマについて、シラバスに掲げた参考文献や、その他授業で示す参考文献を読んでみてください。（各回2時間）

### 備考

さまざまなデータに基づいて、現代日本の大学の特色を理解し、大学がどのような役割を果たしているのか、大学で学ぶことにどのような意味があるのかをみなさんと一緒に考えてみたいと思います。大学に関しては、参考文献としてここに挙げたものをはじめ、さまざまな本が書店に並んでおり、また大学図書館にもあります。授業を聞くだけでなく、ぜひそういった本も読んで、大学で何をどのように学んだらいいかを自分で考え、有意義な学生生活を送る助けにしてください。